

「読み方を学ぼう」では、文章を正確に読み解き、深く読み味わうための「技」や「こつ」を3年間で22種類示しました。この「技」と「こつ」を応用したり組み合わせたりしながら何度も使うことで、文章を読み解く力や物事を考える力が向上します。

さらに、取り上げた「読み方」以外にも、自分の考えを深めたり、表現したりする方法を自覚的に活用することへと広がります。

| 学年 | 読み方        | 教科書で取り上げた教材 | こんなときに使える（一例）                             |
|----|------------|-------------|-------------------------------------------|
| 1年 | ① 説明文の基本構造 | クジラの飲み水     | 「問の文化」「フロン規制の物語」「『文殊の知恵』の時代」などの説明的文章を読むとき |
|    | ② 人物相関図    | 空中ブランコ乗りのキキ | 「握手」「坊っちゃん」などの物語や小説、随筆を読むとき               |
|    | ③ 行動描写     | 字のない葉書      | 「握手」「故郷」「坊っちゃん」「おくのほそ道」などの物語や小説、随筆を読むとき   |
|    | ④ 三角ロジック   | 玄関扉         | 「問の文化」「フロン規制の物語」「情報社会を生きる」などの説明的文章を読むとき   |
|    | ⑤ 詩の表現技法   | それだけでいい     | 「岩が」「初恋」「さくら（独唱）」などの詩や小説、短歌・俳句を読むとき       |
|    | ⑥ 情景描写     | トロッコ        | 「故郷」「おくのほそ道」「高瀬舟」などの物語や小説、詩、随筆を読むとき       |
|    | ⑦ 要約       | 意味と意図       | 「問の文化」「情報社会を生きる」「『文殊の知恵』の時代」などの説明的文章を読むとき |
|    | ⑧ 語り手・視点   | 少年の日の思い出    | 「岩が」「握手」「故郷」「坊っちゃん」などの物語や小説、詩、随筆を読むとき     |

|    |            |                   |                                            |
|----|------------|-------------------|--------------------------------------------|
| 2年 | ① 人物設定     | セミロングホームルーム       | 「握手」「故郷」「坊っちゃん」「高瀬舟」などの物語や小説を読むとき          |
|    | ② 発展的な論の展開 | 人間は他の星に住むことができるのか | 「問の文化」「フロン規制の物語」「情報社会を生きる」などの説明的文章を読むとき    |
|    | ③ 想像       | 短歌の世界／短歌十首        | 「岩が」「初恋」「故郷」「希望」などの小説や詩、短歌・俳句、随想を読むとき      |
|    | ④ 図表と文章    | 一〇〇年後の水を守る        | 「フロン規制の物語」などの説明的文章を読むとき、理科や社会科などの資料を読むとき   |
|    | ⑤ 物語の転換点   | 平家物語              | 「故郷」「坊っちゃん」「サシバ舞う空」などの物語や小説を読むとき           |
|    | ⑥ 象徴       | 小さな手袋             | 「握手」「故郷」「坊っちゃん」「高瀬舟」「初恋」などの小説や詩、短歌・俳句を読むとき |
|    | ⑦ 例示       | 動物園でできること         | 「問の文化」「フロン規制の物語」「『文殊の知恵』の時代」などの説明的文章を読むとき  |
|    | ⑧ 心内語      | 走れメロス             | 「握手」「故郷」「坊っちゃん」「高瀬舟」などの物語や小説を読むとき          |

|    |          |            |                                           |
|----|----------|------------|-------------------------------------------|
| 3年 | ① 回想     | 握手         | 「故郷」「希望」「高瀬舟」などの物語や小説、随想を読むとき             |
|    | ② 批判的な読み | 問の文化       | 「フロン規制の物語」「情報社会を生きる」などの説明的文章を読むとき         |
|    | ③ 省略     | 俳句の世界／俳句十句 | 「岩が」「おくのほそ道」「論語」「初恋」などの小説や詩、短歌・俳句を読むとき    |
|    | ④ 具体と抽象  | フロン規制の物語   | 「問の文化」「情報社会を生きる」「『文殊の知恵』の時代」などの説明的文章を読むとき |
|    | ⑤ 状況・背景  | おくのほそ道     | 「希望」「故郷」「論語」などの小説や詩、短歌・俳句、随想を読むとき         |
|    | ⑥ 反復     | 故郷         | 「握手」「初恋」「高瀬舟」などの小説や詩、短歌・俳句を読むとき           |

※ここでは、3年の教材での活用例を示しています。

この資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成しています。

### 1年 読み方を学ぼう 1

#### 「ベンジンの防音室」における説明文の基本構造

**序論** 防音室とは、騒音を低減させるための施設である。近年、都市部の騒音問題が深刻化している。防音室は、騒音を低減させる効果がある。また、防音室は、騒音を低減させる効果がある。また、防音室は、騒音を低減させる効果がある。

**本論** 防音室の構造は、防音壁、防音床、防音天井からなる。防音壁は、騒音を低減させる効果がある。防音床は、騒音を低減させる効果がある。防音天井は、騒音を低減させる効果がある。

**結論** 防音室は、騒音を低減させる効果がある。また、防音室は、騒音を低減させる効果がある。また、防音室は、騒音を低減させる効果がある。

**ポイント** 問いをつかむ！ 問い（問題提起）の部分を探して、どのようなことについて書かれた文章なのかをつかもう。そして、その答えがどこにどのように示されているかに注意しながら読み進めよう。

**ポイント** 順序を後で必ず注目！ 「一つめは」「第二に」「まず」などのことに注目して、文章の展開を読み分けよう。

**例** クジラの飲み水  
基本構造を捉えると、説明の道筋や要点がよくわかる。

### 1年 読み方を学ぼう 3

#### 「父」の行動描写

**父の行動描写** 父は、毎朝、散歩に行く。父は、毎朝、散歩に行く。父は、毎朝、散歩に行く。父は、毎朝、散歩に行く。父は、毎朝、散歩に行く。

**父の背景** 父は、毎朝、散歩に行く。父は、毎朝、散歩に行く。父は、毎朝、散歩に行く。父は、毎朝、散歩に行く。父は、毎朝、散歩に行く。

**ポイント** 父の行動と、その背景（家族の状況）が示されている。父の行動と、その背景（家族の状況）が示されている。父の行動と、その背景（家族の状況）が示されている。

**例** 行動描写  
行動描写に注目して読むと、小説や随筆の登場人物の心情がより深く捉えられる。

### 1年 読み方を学ぼう 5

#### 「それだけでいい」における詩の表現技法

**詩の表現技法** 詩は、比喩、擬人法、排比などの表現技法を用いて、感情や心情を表現する。詩は、比喩、擬人法、排比などの表現技法を用いて、感情や心情を表現する。詩は、比喩、擬人法、排比などの表現技法を用いて、感情や心情を表現する。

**ポイント** 詩の表現技法（比喩、擬人法、排比）が示されている。詩の表現技法（比喩、擬人法、排比）が示されている。詩の表現技法（比喩、擬人法、排比）が示されている。

**例** 詩の表現技法  
表現技法に注目して読むと、詩の感情や心情がより深く捉えられる。

### 1年 読み方を学ぼう 7

#### 「意味と意図」における要約

**文章の要約** 文章の要約は、主旨、要旨を捉えることで、文章の大意を簡潔に表現する。文章の要約は、主旨、要旨を捉えることで、文章の大意を簡潔に表現する。文章の要約は、主旨、要旨を捉えることで、文章の大意を簡潔に表現する。

**ポイント** 文章の要約（主旨、要旨）が示されている。文章の要約（主旨、要旨）が示されている。文章の要約（主旨、要旨）が示されている。

**例** 要約  
要約する力をつけると、文章や話の中心の内容がつかめる。

### 2年 読み方を学ぼう 1

#### 「セミロングホームルーム」における人物設定

**人物設定** 人物設定は、登場人物の性格、関係性を捉えることで、物語の展開を理解する。人物設定は、登場人物の性格、関係性を捉えることで、物語の展開を理解する。人物設定は、登場人物の性格、関係性を捉えることで、物語の展開を理解する。

**ポイント** 人物設定（登場人物、関係性）が示されている。人物設定（登場人物、関係性）が示されている。人物設定（登場人物、関係性）が示されている。

**例** 人物設定  
人物設定の仕方を捉えると、小説の内容とストーリー展開の仕掛けをより深く理解できる。

### 2年 読み方を学ぼう 3

#### 「短歌の世界」における想像

**想像** 想像は、情景、感情を捉えることで、短歌の世界をより深く理解する。想像は、情景、感情を捉えることで、短歌の世界をより深く理解する。想像は、情景、感情を捉えることで、短歌の世界をより深く理解する。

**ポイント** 想像（情景、感情）が示されている。想像（情景、感情）が示されている。想像（情景、感情）が示されている。

**例** 想像  
想像する力を鍛えようと、詩・短歌・俳句や小説が、より鮮やかに読み味わえる。

### 1年 読み方を学ぼう 2

#### 「空中ブランコ乗りのキキ」における人物相関図

**人物相関図** 人物相関図は、登場人物の性格、関係性を捉えることで、物語の展開を理解する。人物相関図は、登場人物の性格、関係性を捉えることで、物語の展開を理解する。人物相関図は、登場人物の性格、関係性を捉えることで、物語の展開を理解する。

**ポイント** 人物相関図（登場人物、関係性）が示されている。人物相関図（登場人物、関係性）が示されている。人物相関図（登場人物、関係性）が示されている。

**例** 人物相関図  
人物相関図を作ると、物語の全体像や展開のしくみがよくわかる。

### 1年 読み方を学ぼう 4

#### 「玄関扉」における三角ロジック

**三角ロジック** 三角ロジックは、主張、理由づけを捉えることで、説明的文章の構造を理解する。三角ロジックは、主張、理由づけを捉えることで、説明的文章の構造を理解する。三角ロジックは、主張、理由づけを捉えることで、説明的文章の構造を理解する。

**ポイント** 三角ロジック（主張、理由づけ）が示されている。三角ロジック（主張、理由づけ）が示されている。三角ロジック（主張、理由づけ）が示されている。

**例** 三角ロジック  
主張と事実と理由づけの三つを区別することで、論理的に文章を読み解くことができる。

### 1年 読み方を学ぼう 6

#### 「トロッコ」における情景描写

**情景描写** 情景描写は、情景、感情を捉えることで、情景描写の構造を理解する。情景描写は、情景、感情を捉えることで、情景描写の構造を理解する。情景描写は、情景、感情を捉えることで、情景描写の構造を理解する。

**ポイント** 情景描写（情景、感情）が示されている。情景描写（情景、感情）が示されている。情景描写（情景、感情）が示されている。

**例** 情景描写  
情景描写を読み解くと、直接書かれていない心情がより深く捉えられる。

### 1年 読み方を学ぼう 8

#### 「少年の日の思い出」における語り手・視点

**語り手・視点** 語り手・視点は、語り手、視点を捉えることで、物語の展開を理解する。語り手・視点は、語り手、視点を捉えることで、物語の展開を理解する。語り手・視点は、語り手、視点を捉えることで、物語の展開を理解する。

**ポイント** 語り手・視点（語り手、視点）が示されている。語り手・視点（語り手、視点）が示されている。語り手・視点（語り手、視点）が示されている。

**例** 語り手・視点  
語り手と視点に着目して読むと、作品の仕掛けがより深く理解できる。

### 2年 読み方を学ぼう 2

#### 「じゅんけんは……」における発展的な論の展開

**発展的な論の展開** 発展的な論の展開は、主張、理由づけを捉えることで、発展的な論の展開を理解する。発展的な論の展開は、主張、理由づけを捉えることで、発展的な論の展開を理解する。発展的な論の展開は、主張、理由づけを捉えることで、発展的な論の展開を理解する。

**ポイント** 発展的な論の展開（主張、理由づけ）が示されている。発展的な論の展開（主張、理由づけ）が示されている。発展的な論の展開（主張、理由づけ）が示されている。

**例** 発展的な論の展開  
発展的な論の展開を捉えると、筆者の説明の道筋や表現の工夫がわかる。

### 2年 読み方を学ぼう 4

#### 「一〇〇年後の水を守る」における図表と文章

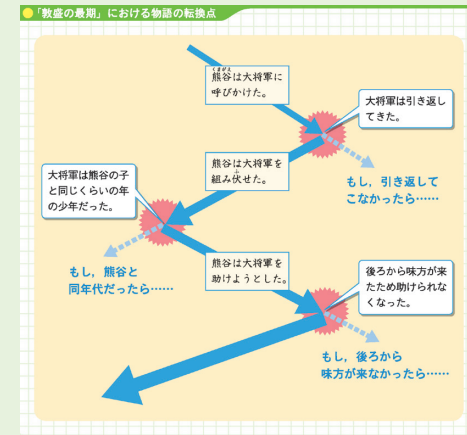
**図表と文章** 図表と文章は、図表、文章を捉えることで、図表と文章の構造を理解する。図表と文章は、図表、文章を捉えることで、図表と文章の構造を理解する。図表と文章は、図表、文章を捉えることで、図表と文章の構造を理解する。

**ポイント** 図表と文章（図表、文章）が示されている。図表と文章（図表、文章）が示されている。図表と文章（図表、文章）が示されている。

**例** 図表と文章  
文章と図表の対応を確かめることで、筆者の考えや考へのもととなる事実を的確に理解することができる。



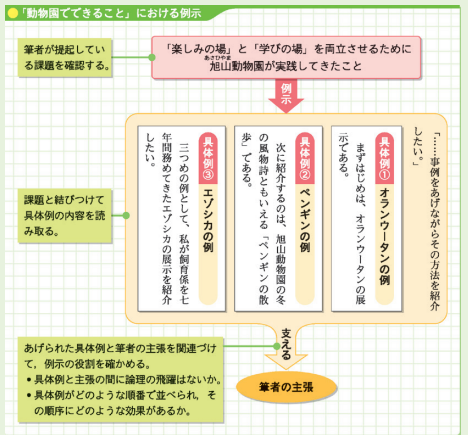
2年 読み方を学ぼう 5



例 平家物語  
物語の転換点

▼物語の転換点に気をつけて読むと、物語の展開の巧みさとその効果が理解できる。

2年 読み方を学ぼう 7

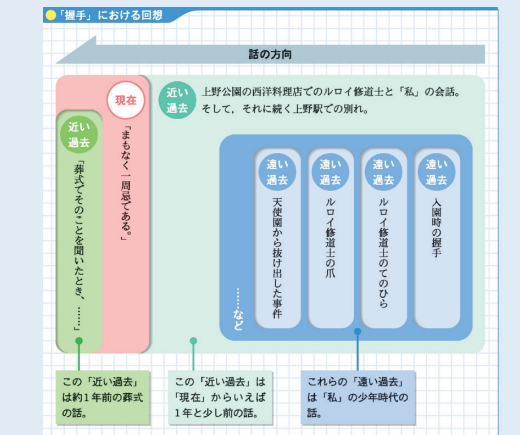


例示

例 動物園でできること

▼例示の効果を意識して具体例を読み、筆者の主張を的確に把握することができる。

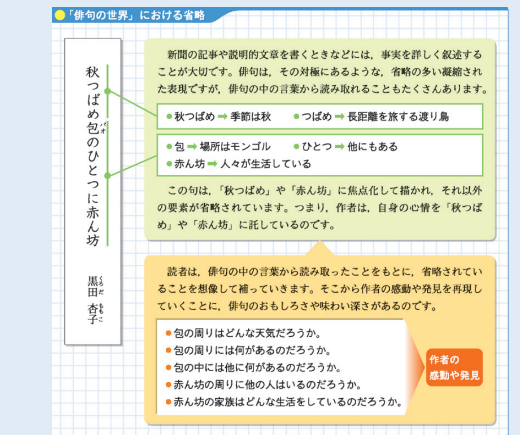
3年 読み方を学ぼう 1



例 回想

▼回想に注意してきここの順序を整理すると、作品の構造と展開が明確につかめる。

3年 読み方を学ぼう 3

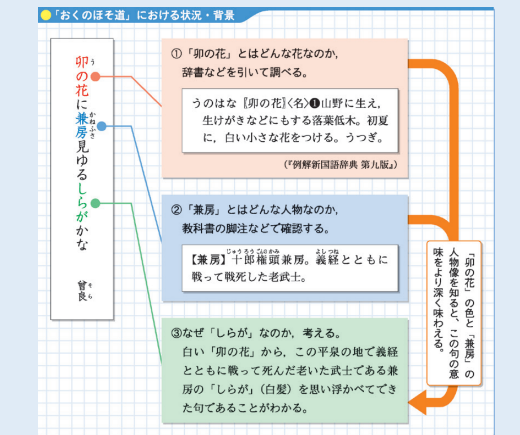


省略

例 俳句の世界／俳句十句

▼省略の技法を理解し、想像で余白を補うと、俳句や短歌がより深く読み味わえる。

3年 読み方を学ぼう 5

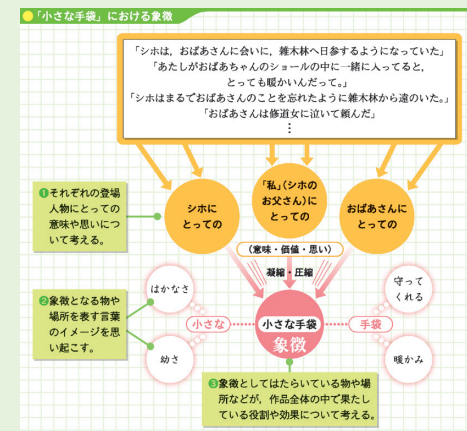


状況・背景

例 おくのほそ道

▼状況や背景をふまえて小説・随筆を読むと、より広く、深い読解が可能になる。

2年 読み方を学ぼう 6

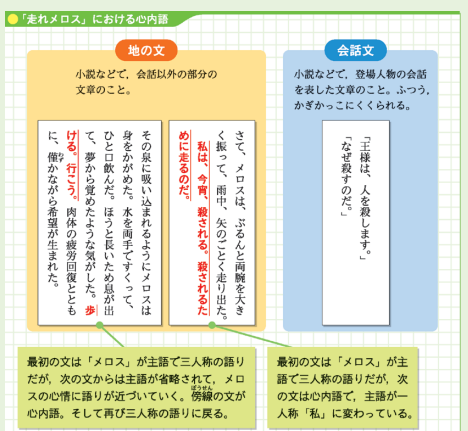


象徴

例 小さな手袋

▼象徴のはたらきに気づくと、直接書かれていない思いや価値を読み解くことができる。

2年 読み方を学ぼう 8



心内語

例 走れメロス

▼心内語に気をつけて読むと、読み手の心情を登場人物に引き寄せるしくみがわかる。

3年 読み方を学ぼう 2

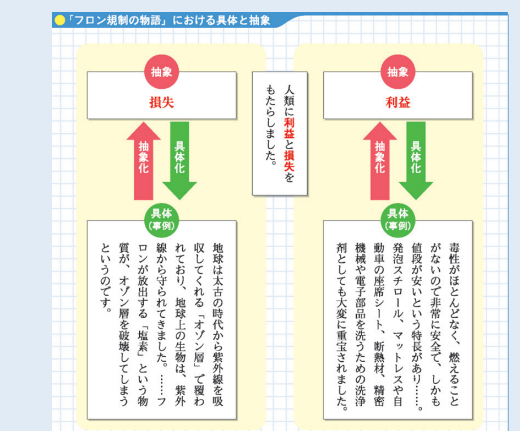


批判的な読み

例 間の文化

▼批判的に読むことで、筆者の論理の展開や表現の工夫を捉えたり、自分の考えを確かめるのにしたりすることができる。

3年 読み方を学ぼう 4

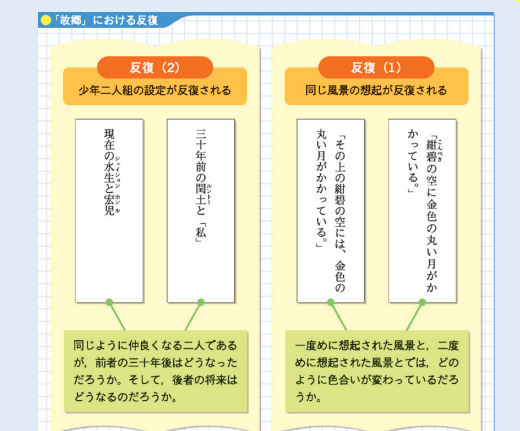


具体と抽象

例 フロン規制の物語

▼具体と抽象を意識して読むと、文章の内容をより論理的に理解することができる。

3年 読み方を学ぼう 6



反復

例 故郷

▼反復に着目して読むと、作品全体への理解をより深めることができる。

「読み方を学ぼう」活用のために

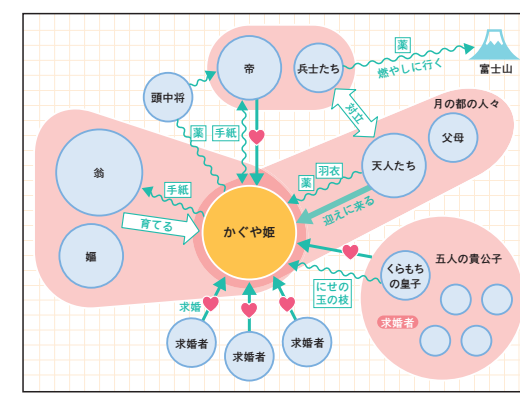
例1 人物相関図（1年「空中ブランコ乗りのキキ」）

●人物の配置を示すときの円や四角などの「大きさ・形・色」の工夫は、それぞれの登場人物をどう読んだかに関連する。また、矢印の「向き・太さ・色・線の種類」などは、人物どうしの関係をどう捉えたかを反映する。

●捉えたことを言語化し、矢印などにも言葉（「プレッシャー」「気遣い」「ライバル」など）を加えることで、物語の内容と構造を表現しながら理解を深めていくことができる。

●読解したことを「ひとめで見える形」にすることは、協働的問題解決に有効な方法である。視覚化された具体的な方略を自覚的に用い、その読解効果を他者と交流しながら確かめることで、学習者は「わかる」「使える」という実感を得ながら読解力を高めていくことができる。

他の学習場面で活用できる！



ポイント

- 全ての登場人物を書き出す必要はない。
- 登場人物どうしの共通点に着目して、枠で囲ってグループにまとめて整理する。

例2 三角ロジック（1年「玄関扉」）

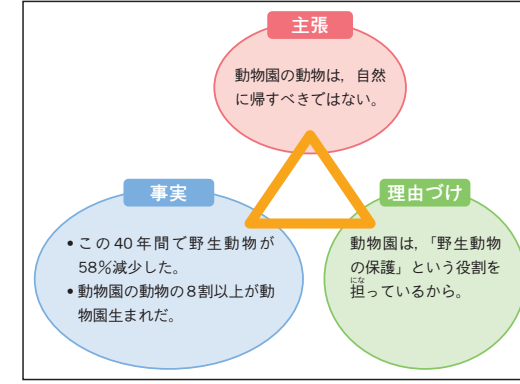
●「主張」「事実」「理由づけ」の三点に分析することによって、筆者の論理の組み立てを視覚的に整理することができる。

●日常の会話をはじめとする言語活動の実態としては「理由づけ」が示されない主張が多い。「理由づけ」が省略される理由の一つには、その認識や価値観が「共通で当たり前」である（と思われている）ため、わざわざ表に出さないことがあげられる。

●文章においても、「理由づけ」が本文中に必ずしも示されているわけではない。そのため、筆者の「理由づけ」（隠れた前提）を推測しながら顕在化することがポイントになる。

●筆者の論理を分析・整理するだけでなく、自分の考えを組み立てるツールに活用することで、三角ロジックはより有効なものになる。

他の学習場面で活用できる！



ポイント

- 主張を支える部分を「事実」と「理由づけ」に分けて考える。
- 「事実」は、複数あげて、その中で特に説得力が高まるものを選ぶようにする。
- 選んだ事実がどのように主張を支えるかを考えて、理由づけを明確にする。